

11. 当院における Angio CT による HCC の診断

山田博之, 中川彰彦, 黒沢俊介
日野真一, 隆元 英, 五十嵐正彦
(国立習志野)

当院では現在 HCC の診断に積極的に Angio CT を施行している。今回 CTA, CTAP にて HCC と診断した39症例84病変について検討した。

ダイナミック CT, エコーに比べ Angio CT は病変検出能に優れているが, それに関し, 腫瘍径, 肝区域との関係は認められなかった。また, 今後は, 偽陽性例, 非典型例の検討が問題である。

12. 当院における Angio-CT の使用経験

行澤齊悟, 森本直樹, 坂上信行
吉田 有 (下都賀総合)

当院で平成11年7月より12月までに Angio-CT を施行した15例につき検討した。

HCC症例9例のうち8例で, 経静脈性造影 CT で描出されない病変が, Angio-CT で描出された。また, single-level dynamic CTA を用いて, 腫瘍の詳細な血行動態を観察し, HCC の流出静脈, FNH の spoke-wheel 様の造影パターンを描出した。さらに, RFA 直後の Angio-CT の治療効果判定への有用性が示唆された。

13. 肝細胞癌に対する Degradable starch microspheres を用いた肝動脈塞栓療法

石井 浩, 中村広志, 穴戸英樹
西荒井宏美, 森 義雄, 木村邦夫
伊藤一茂, 塚原常道, 長谷川茂
家里憲二, 山本駿一 (千葉社会保険)

Degradable starch microspheres (DSM) の肝細胞癌に対する抗腫瘍効果を探査することを目的として pilot study を行った。評価可能病変を有する肝細胞癌6例を対象とし, DSM 単独塞栓療法を施行, 腫瘍治療効果度と有害事象を評価した。腫瘍の壊死効果は各々の例で20-80%の範囲でみられ, 50%以上の腫瘍壊死効果2例, 50%以上の腫瘍縮小率1例の3例に明らかな治療効果がみられた。初期の有害事象は鎮痛剤をしばしば必要とする一過性の疼痛であり, 全例に観察された。引き続き, 切除不能である5例に対し, DSM と epirubicin を用いた血管塞栓化学療法を施行した。現在までに評価可能である4例中2例が著効, 2例が有効であった。DSM は短時間作用の血管塞栓剤であるにも関わらず肝細胞癌に対する阻血壊死効果を有し, また抗腫瘍剤と併用する塞栓療法剤として有望であ

る。現在, DSM と epirubicin を用いた血管塞栓化学療法は, 多施設で症例を蓄積し共同研究によりその有効性を確認中である。

14. 穿刺経路に播種をきたした肝細胞癌症例の検討

穴戸忠幸, 品川 孝, 木村敬太
飯野康夫, 宇梶晴康, 一戸 彰
(上都賀総合)

当院で経験した肝細胞癌256例のうち, 161例に対し細径針による超音波映像下穿刺(細胞診, 組織診, PEI)を行い, 5例(3.1%)に播種を認めた。穿刺から播種確認までの期間は, 3カ月から5年7カ月で平均1年8カ月であった。穿刺回数は, 3回から8回で平均5回であった。病理組織学的に検討しえた3例は, 中分化型肝癌2例, 低分化型肝癌1例であった。播種に対する治療は3例で外科的切除を行った。5例中2例は死亡したが, 播種による影響は認められなかった。

15. PMCT が効果的であった AP-Shunt 合併肝細胞癌の1例

篠崎正美, 加藤伸太郎, 森 昭憲
千葉哲博, 大久保雄介, 菊池保治
村岡秀樹, 後藤信昭, 永井 順
(沼津市立)

症例は63才男性で, HCV 抗体陽性の肝硬変であり, 肝機能は Child C であった。又, 多量の腹水を認めた。各種画像診断で強い AP-Shunt を認めたため, 2回 TAE を行い, RHA をスポンゼルとコイルで塞栓した。その後腹水の減少は認めしたが, AP-Shunt は残存し, 肝性脳症による入退院を繰り返した。AP-Shunt の消失を目的に, PMCT を3回行った。PMCT 後は, 各種画像で門脈血の逆流を認めなくなり AP-Shunt の消失を確認した。PMCT 後は肝性脳症を起こさなくなり, NH₃ の値も低下した。また食道静脈瘤も改善し, 腹水も消失した。

この経験より, AP-Shunt に対し PMCT は効果的な治療法であると思われた。

16. 肝細胞癌に対する経皮的マイクロ波凝固療法の局所再発に関する検討

平出 明, 中堀 進, 深町唯博
吉原一秀 (県立佐原)

当院で経皮的マイクロ波凝固療法 (PMCT) 単独にて治療をした肝細胞癌 (HCC) 症例10例10結節を対象としその局所再発に関する検討を行った。PMCT 単独にて治療した肝細胞癌10例中5例に再発を認めた。腫瘍径に比較してマイクロ波照射回数の少ないものに,